

労働条件を上げ
魅力ある航空に！

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1053 (39-2) 2024年11月8日

2024 年末闘争

一時金引上げ職場要求の前進へ

— 15日の山場に向け職場からの運動強化を —

24 年末闘争は、年末一時金や諸要求への回答が示されたものの、昨年実績を下回るなど納得のいく回答にはなっていません。15 日の山場に向け一時金の引き上げや諸要求の前進に向けた交渉が続けられています。

11 月 1 日、JAL グループ各労組に一時金や諸要求の回答が示されました。経営側は春闘で提示した年末一時金 2 カ月については、通期利益目標が見通せることから 2.5 カ月に引き上げました。しかし、前年実績の 3 カ月から 0.5 カ月も引き下げられたことに対し、職場からは繁忙な職場実態や生活への影響などから不満の声が上がっています。また、NAFCO 労組や JAS 新労組では、11 月中旬に年末一時金についての回答が示される予定です。

JFU では全乗員に対して 20%の賃上げを求め、11 月 18 日を独自の日程を設定し要求の前進を目指し緊迫した交渉が続いています。一方、全日空乗組では経営監視や乗員養成、ANA 乗組は 737 一元化に伴い諸課題やリプロモーションなどについて交渉を継続しています。

国交省、グラハン監督強化に向け WG

今年末では、人員不足や過重労働による職場の安全への影響が現実化しており、グラウンドハンドリングの職場では不安全事故が後を絶ちません。グラハン連（航空連の専門部）調査では、大手グラハン会社では昨年を上回るペースで不安全事故が発生していることが報告されており、再発防止策が有効に機能していない状況にあります。こうしたなか、国土交通省は「グラウンドハンドリングにおける安全監督体制の強化に向けた WG」を設置し、監督強化策を検討しています。

年末年始の繁忙期に向けては、生産体制の強化が不可欠ですが、人材や資格者不足は多くの職場で指摘されています。人材確保や離職対策のためには、一時金や賃金の引き上げ、勤務条件の改善は急務です。職場からの運動を結集し、15 日の山場に向けさらなる要求の前進を目指しましょう。

年末一時金回答一覧 カッコ内要求

JFU	2.5カ月（3カ月）
CCU	2.5カ月 （3.3カ月+10万円）
JLU	2.5カ月 （3.3カ月+10万円）
GHU	2.5カ月（3.2カ月）
NAFCO	11月中旬回答 （3.5カ月+5万円）
JAS新	11月中旬回答 （2.86カ月）
ACA	2カ月
APU	2カ月
UA労組	3カ月
NW労組	2.5カ月
FX労組	2.4カ月
SQ労組	2.5カ月
※GHU=JGS労組、JGS大阪労組 JGS九州労組	
※ACA以下の労組は春夏闘時に確定。	

以上